

# 三菱製品情報管理システム “PDMMASTER”

中野隆雅\* 阿部光久\*  
難波奈須夫\* 熊沢高司\*  
中村伊知郎\*

## 要旨

近年、製造業における営業・設計・資材・製造などの各部門では、個別業務の電子化・最適化が進められてきた。しかし多様化するユーザーニーズ、短いリードタイム、低コストを実現し、激しい企業間競争に勝ち残っていくには、部門間のシームレス化、製品情報の統合的な保管が求められてきている。このようなニーズにこたえる新たなシステムとしてPDM (Product Data Management System : 製品情報管理システム) がある。

本稿では、当社で開発したPDM製品である三菱製品情報管理システム“PDMMASTER”を、以下の四つの機能に分けて紹介する。

### (1) 実データ管理機能

製品や部品の情報及び図面や文書などの実体データを管

理する機能で、セキュリティ管理やバージョン管理、状態管理機能などがある。

### (2) 構成管理機能

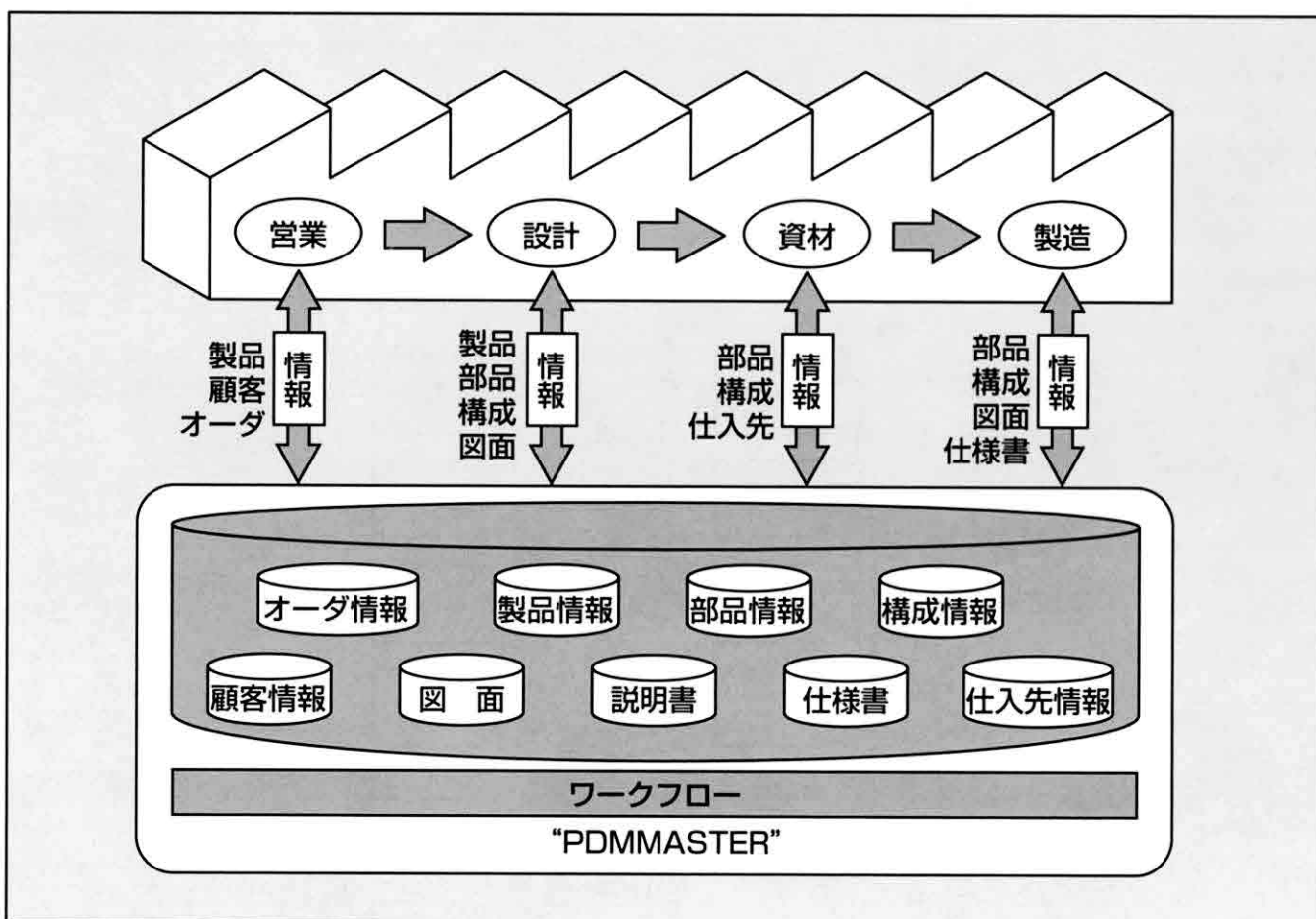
部品間の関係や部品とドキュメントの関係を管理する機能である。

### (3) ワークフロー管理機能

実データや構成データを業務の流れに従って管理する機能がある。

### (4) カスタマイズ機能

利用目的に応じてデータベーススキーマ及び画面をGUI (Graphical User Interface) ベースでカスタマイズする機能を持っている。



## PDMMASTERによる製造過程の統合化例

従来、部門間は紙を用いて情報伝達を行うことが多かったが、PDMMASTERの導入によって情報を統合的に管理することが可能になり、情報伝達の迅速化が進められる。また、必要情報の高速な検索/参照や構成を含めた製品/部品の流用が容易になるため、部門間の効率改善とともに部門内での作業効率改善が図れる。